ISO白色度対応分光測色計
Spectrophotometric Colormeter

CMS-35SPXM

MCRL

MURAKAMI COLOR RESEARCH LABORATORY

TOKYO JAPAN

ISO白色度対応分光測色計 Spectrophotometric Colormeter CMS-35SPXM

概要

・JIS P 8148 紙、板紙及びパルプ-ISO白色度（拡散青色光反射率）の測定方法（ISO 2470 NOD）に準拠して設計された分光測色計です。
・キセノンランプによる白色光照明なので、蛍光増白紙や蛍光色も視感に近い測定値が得られ、蛍光増白強度も測定できます。照明光の紫外線量も調整可能で、信頼性の高い測定値が得られます。

特徴

高精度
効率の良い凹面回折格子の採用とダブルビーム方式により、再現性の良い高精度な測定ができ、長期安定性にもすぐれています。

積分球
積分球内壁には、独自の技術により黄変しにくいPTFEを塗布しているので、照明光の波長特性が長期間安定しています。

試料開口
積分球の試料開口は下向きなので、積分球内に埃が入りにくく安心です。

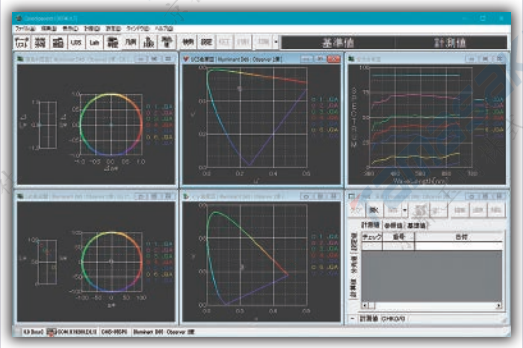
紫外線 in／cut を自動測定
照明光に紫外線を含む場合と含まない場合を自動で測定でき、一度の操作で蛍光増白強度が測定できます。

仕様

CMS-35SPXM	
測定方式	ダブルビーム方式
幾何条件	白色光拡散照明 0° 受光 積分球 φ150mm
測定面積	φ30mm
試料開口面積	φ35mm
光源	キセノンランプ75W（公称寿命1,000H）
分光素子	凹面回折格子
測定波長範囲	390nm～730nm
測定波長間隔	10nm バンドパス 約10nm
受光器	シリコンンフォトダイオードアレイ 35素子
測定時間	約3秒（蛍光増白効果の測定は約7秒）
測定値再現性	測光値再現性 0.03%以内（標準白板を30回測定したときの分光反射率測定値の標準偏差）
関連規格	関連規格 JIS P 8148-2001、TAPPI T 525、ISO 2469、2470、ISO 2471、ISO 3688、ASTM E 313
インターフェイス	インターフェイス RS-232C双方向
寸法	寸法 378（W）×560（D）×495（H）mm
重量	重量 28kg
消費電力	電源 AC100V 50／60Hz 4A

分光測色プログラム

Color Space V2



用途

・紙のISO白色度の測定
・紙、布、樹脂等の不透明度や色差の測定
・染料、顔料、印刷インキなど、色材の色彩管理
・染色、塗色、樹脂など、調色工程でのCCM処方計算用分光測色
・塗色、染色、着色樹脂材などの色差原因の追求

▲製品改良などにより仕様の一部を予告なく変更する場合があります。

●お問い合わせは下記まで

株式会社
村上色彩技術研究所

本社 〒104-0054 東京都中央区勝どき3丁目11番3号
TEL 03（3532）3011 FAX 03（3532）2056
URL http://www.mcrl.co.jp E-mail sales@mcrl.co.jp

取扱店

MCRL